

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	2	百日咳	1	0
RSウイルス感染症	0	0	ヘルパンギーナ	457	388
咽頭結膜熱	17	20	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	78	98
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	50	42	急性出血性結膜炎	0	2
感染性胃腸炎	185	210	流行性角結膜炎 (はやり目)	15	7
水痘	69	63	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	1452	1567	無菌性髄膜炎	2	1
伝染性紅斑 (りんご病)	10	14	マイコプラズマ肺炎	3	0
突発性発しん	50	57	クラミジア肺炎	0	0

**報告が多い  
感染症**

- 手足口病
- ヘルパンギーナ
- 感染性胃腸炎

- 手足口病は、報告数 1452件(前週報告数 1567件)と減少。  
地区別では、菊池、宇城、熊本に多く報告がみられる。  
年齢別では、1歳の397件を最多に、幅広い年齢層から報告されている。
- ヘルパンギーナは、報告数 457件(前週報告数 388件)と増加。  
地区別では、有明、天草、菊池に報告が多くみられる。  
年齢別では、1歳の115件を最多に、幅広い年齢層から報告されている。
- 感染性胃腸炎は、報告数 185件(前週報告数 210件)と減少。  
地区別では、山鹿、人吉、菊池に多く報告がみられる。  
年齢別では、1歳の31件を最多に幅広い年齢層から報告されている。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミ ジア肺炎
熊本市保健所			3	20	48	36	609	6	21	1	138	35		13		2	1	
山鹿保健所					18		63	2	1		2	4	*	*				
菊池保健所			9	5	27	2	269	2	6		56	4						
阿蘇保健所				1	8				1		1		*	*				
御船保健所					2	5	8					1	*	*				
八代保健所			2	2	18	2	47		5		26	2						
水俣保健所			2	1	13		17		3		9	2	*	*				
人吉保健所					8	21	12	69		2	22	4	*	*				
有明保健所				1	16	4	143		2		112	14		2			2	
宇城保健所			1	4	12	7	124		3		34	9						
天草保健所				8	2	1	103		6		57	3						
計	0	0	17	50	185	69	1452	10	50	1	457	78	0	15	0	2	3	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	0																					
咽頭結膜熱	17		1	2	6	2	1	3			1				1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50			4	7	7	8	4	6	3	3	2	4	1	1							
感染性胃腸炎	185	2	19	31	17	16	18	7	13	7	7	6	17	7	18							
水痘	69		10	13	12	12	10	5	2	4					1							
手足口病	1452	17	145	397	303	215	144	114	50	20	11	12	15		9							
伝染性紅斑	10		1	1	1	2	4		1													
突発性発しん	50	5	28	16	1																	
百日咳	1	1																				
ヘルパンギーナ	457	6	67	115	87	65	46	32	23	7	4	1	2		2							
流行性耳下腺炎	78			4	10	16	15	10	8	4	5		5	1								
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	15												1	3	4	4	2				1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	2			1	1																	
マイコプラズマ肺炎	3			3																		
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

- 手足口病：熊本・山鹿・菊池・八代・水俣  
人吉・有明・宇城・天草
- ヘルパンギーナ：熊本・菊池・八代・水俣  
人吉・有明・宇城・天草
- 流行性耳下腺炎：山鹿

ヘルパンギーナ  
手足口病



今週のヘルパンギーナの報告数は更に増え、山鹿・阿蘇・御船・水俣以外の地域で警報レベルを超えています。ヘルパンギーナは、いわゆる夏かぜの代表的疾患で、発熱とのどにできる水疱性発疹が特徴で、急な発熱で発症します。患者の鼻水や唾液、便などにウイルスが存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排泄されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。外出後、食事の前やトイレの後は、流水と石けんで十分に手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。

一方、手足口病は、前週よりやや報告数が減ったものの、依然警報レベルが続いています。また、医療機関からは、2回以上手足口病に罹った例が複数報告されています。予防法はヘルパンギーナと同様ですので、一度罹った方もしっかり予防対策をとってください。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課